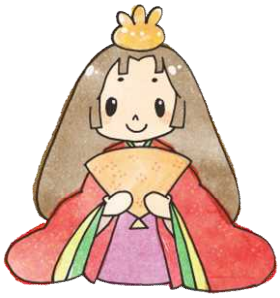
ほくと ライブラリー

新屋図書館だより



発行：秋田市立新屋図書館
秋田市新屋大川町 12－26　☎ 018－828－4215
https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/1008848

No. 219
R2. 3月号

広報あきたに掲載されている特別資料展示＆ギャラリートークは中止になりました

ヘルマン・ヘッセ昆虫展『少年の日の思い出』

ノーベル文学賞作家であるヘルマン・ヘッセの作品『少年の日の思い出』に登場する昆虫の標本や、ヘッセに関連した資料を展示し、講師に日本アンリ・ファーブル会の新部公亮氏をお呼びしてギャラリートークを行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、展示とギャラリートークを中止いたします。楽しみにされていた皆様に心よりお詫び申し上げます。ご理解のほどお願いいたします。

イベント中止のお知らせ

企画されていた以下のイベントについて、新型コロナウイルス感染症対策として**中止**いたします。ご理解とご協力をお願いいたします。

- **3月7日(土)　おはなしのしずくのおはなし会「もこもこもこ」**
- **3月10日(火)　おはなしのしずくのおはなし会「もうすぐ、春ですよ」**
- **3月14日(土)・26日(木)　ギャラリートーク**
  ヘルマン・ヘッセ昆虫展『少年の日の思い出』

新　刊　案　内

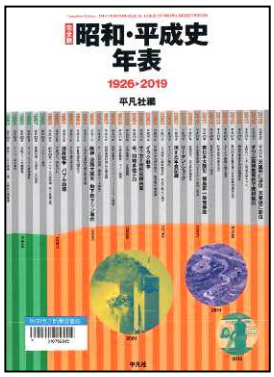
よくわかる失語症　ことばの攻略本　ことば体操編・音読編

沼尾　ひろ子／著
エスコアール　　請求記号　493　（ リハビリテーション ）

４１歳のときに脳梗塞で失語症になったフリーアナウンサーによるリハビリのプログラム。大きな文字とイラストでわかりやすく解説しています。失語症とはどういった症状なのか、周囲の理解にも役立つでしょう。「ことば体操編」と「音読編」があります。

完全版　昭和・平成史年表　１９２６→２０１９

平凡社／編
平凡社　　請求記号　R210．７　（ 歴史 ）



1997年に出版され、2009年の新訂版を経て、激動の昭和63年間と、波乱の平成30年間をみっちりと凝縮した、完全版の年表が刊行されました。すべての事象には始まりがあります。令和という新しい時代が幕を開け、今、そして未来がどうなるのか、答えは歴史の中にあるのかもしれません。

【注意：貸出できません。
館内でご覧ください。】

秋田内陸線エコミュージアム ローカル線を軸にした地域おこし

鈴木　克也／著
エコハ出版　　請求記号　A601　（ 地域開発 ）

日本のローカル線の中でも、積極的な展開を続けている秋田内陸線。その存続と発展を、地域全体を博物館と捉え、そのまま保存・育成・展示する“エコミュージアム”という考え方から論じます。内陸線の経営、また秋田の自然・文化に関わる人々のインタビューも多数収録。

名探偵カッレ　城跡の謎　リンドグレーン・コレクション

アストリッド・リンドグレーン／作　　菱木　晃子／訳
岩波書店　　請求記号　92 リ　（ 外国文学 ）

探偵として偵察活動をかかさぬカッレ少年の前に現れた男。「あやしい男だ」探偵のカンが働きます。「長くつ下のピッピ」でおなじみリンドグレーンの作品。犯罪学の権威で後に国立犯罪技術研究所設立者の秘書をしていた作者が、その時得た知識をいかした本格的探偵小説。

図書館員（近藤　明奈）のおすすめ本

書　　名	妄想国語辞典
著 者 名	野澤　幸司／著
出 版 社	扶桑社
所　　蔵	明徳
	請求記号　８１４　（　日本語　）

表紙をめくると登場するのは、哀愁漂う顔で妄想を膨らませているおじさん。映画『カメラを止めるな！』で映画監督役を務めた、俳優の濱津隆之さんです。この方が、良い感じに読み手を脱力させてくれるのです。

この辞典に収められているのは、著者曰く「生きていく上で全く役に立たない」言葉たち。意味がピンとこない言葉もありますが、共感できたらはまること間違いなしです。ちなみに私がはまった言葉は、「行けたら行きます」【意味】絶対に果たされない約束。「ここだけの話」【意味】みんな知っていること。…いかがでしょうか？「分かる分かる」と思った方は、この本にはまる要素をお持ちです。ぜひ一度お手に取ってご覧ください。予約・取寄せもできますので、詳しくはカウンター職員へ。

図書館員（小松　智実）のおすすめ本

書　　名	復元ＣＧ　日本の城【1】
著 者 名	三浦　正幸／監修
出 版 社	山川出版社
所　　蔵	明徳
	請求記号　５２１　（　城　）

城主の威厳を示すため、立派な天守閣などがある城の多くは西日本にあります。それは関ヶ原の戦いで勝利した東軍に属していた武将が築城したからだそうです。

本書はその中の２６城について、史料を基に全体像をＣＧで再現し、現在の風景の写真と比較できるように作成されていて、その敷地の広大さがよく分かる内容となっています。

いままでは立派な建造物だけに目を向けていて、敷地全体のことは気にとめていませんでした。

これからは、本書に載っている場所を実際に歩いてみてその広大さを実感したい、そう感じさせる一冊です。

明治初期に撮影された、取り壊される前の貴重な写真も必見です。

記事になったお酒の話題あれこれ･･･お酒は朝に残さずに…

秋田県警本部のまとめによると、２０１９年の飲酒運転摘発のなかで、通勤時間帯（６～１０時）の摘発件数が過去２年と比べて２～３倍に増加したとのことです。原因は、前日の深酒や深夜までの飲酒。たとえ睡眠をとったとしても、翌朝に基準値以上のアルコールが体に残っているまま車を運転してしまえば飲酒運転になってしまいます。

日本酒１合ぶんのアルコールが分解されるには、個人差はあるもののだいたい男性で４時間、女性で５時間かかるそうです。おいしくお酒を飲んだ翌日のお出かけは、自分の体とよく相談してどうぞご安全に！

新屋は、醸造の街。
新屋図書館には、酒の
資料コーナーがあります。

【参考資料】
産経新聞（電子版）
２０２０年1月２７日配信

平成ってどんな時代？　･･･新しい時代・令和･･･

「令和」は、日本ではじめて使われた「大化」（６４５～６５０年）から数えて２４８番目の元号です。

「令和」の文字は、奈良時代に編纂された歌集『万葉集』に収録されている「梅花の宴三十二首并せて序」（梅を愛でる“梅花の宴”で詠まれた歌を紹介する際の序文）の、

時に、初春の令月（れいげつ）にして、気淑（きよ）く風和（かぜやわ）らぎ、
梅は鏡前の粉を披（ひら）き、蘭は珮後（はいご）の香を薫らす。

《初春のよい月に、空気もよく風も和らぎ、
梅は鏡の前の女人が白粉を刷いたように咲き、蘭は衣服を飾る香のように薫っている》

という記述からとられています。元号の文字は、これまでは中国の書物・漢籍から引用されていましたが、今回は初めて日本の書物・国書から採用されました。

これからの時代が、序文で表現されているような穏やかで美しい時代になるといいですね！

【参考文献】ＪＴＢパブリッシング『万葉集を旅する』／汐文社『日本の元号大事典』／くもん出版『元号の歴史大事典』

図書館員のひとりごと

今冬の秋田は、記録的な暖冬少雪であった。除雪業者は悲鳴をあげ、多くのスキー場は全面滑走不可、一方ゴルフ場では営業が継続できるなど業種によって悲喜交々。

今後、水不足や少雪の反動による大雨が心配だ。大雪は勘弁してほしいが、冬季の地域行事に雪がないのは情緒に欠け、盛り上がりもいまいち。

四季折々にふさわしい季節感を味わいたいと願うのだが、母なる地球は気候変動という病に侵され、異常気象が当たりまえの世の中になってしまったのか？　（平山）

もう春ですね。厳しい冬があるからこそ、春の訪れは格別に嬉しいものです。春といえば、お花見。桜は咲いたと思えば満開を迎え、すぐに散ってしまいます。そんな儚さも魅力ですが、もう少し春が続けばいいのに、とわたしは思います。

わたしは大学生のときから毎年、千秋公園にお花見に行っています。友達とみた桜、母とみた桜、ひとりでみた桜。積み重なった思い出が溢れる大好きな場所です。毎年同じ桜でも、毎回違う気持ちで見上げる桜。今年はどんな思いで桜を見上げているのか、今から楽しみです。

（金谷）